



研修医日記

作成者：田口 ころろ（1年次）

こんにちは。1年次研修医の田口です。

研修医日記もあつという間に3回目の投稿です。時の流れの速さに驚きつつ、研修させていただいている1日1日を大事に過ごしていかなければならないと、初心に立ち返る想いがしております。

今回は私の趣味の一つ「鉱物」についてお話ししたいと思います。巷では最近「鉱物女子」という言葉も生まれているようですが、私の鉱物への目覚めは10年以上前に遡ります。キラキラしたものが好きで、小学生の頃から石屋さんで小石を買っては集めていました。中学生になると親に頼み込み、隔週発売の付録付き鉱物雑誌（付録で本物の鉱物が付いてくる）を定期購読して鉱物の勉強をしていました。

働き始めたら鉱物の直売会に赴き本格的にコレクションを始めたい！と思っていたのですが、コロナ禍で全く行けず……。とうとう自分で鉱物の結晶を作ることにしました。ビスマスという鉱物をご存知でしょうか。蒼鉛とも呼ばれる元素番号83の元素で、爪で引っ掻いただけでも傷がつくくらい柔らかく脆い、銀白色の金属です（モース硬度2~2.5）。工業素材としてだけではなく整腸剤の原料としても利用されている、実は身近な鉱物です。ビスマスは、身近な道具を用いて自分で美しい結晶に育て上げることができるのです。

ビスマスのチップ（通販サイトで売っている）をステンレスの器で加熱し溶かし、冷ます過程で結晶を取り出すというシンプルな作業です。うまい具合に取り出せると、画像のような多彩で神秘的な結晶を得ることができます。本来銀白色の金属がどうしてこんな色や形になるのか？ということについては、長くなってしまっているので割愛させていただきます…。

詳しい作り方はインターネットで検索すると出てきます。少しでも興味が湧いたという読者の皆様、くれぐれも安全には気をつけて、この素敵な実験にチャレンジされてみてはいかがでしょうか。



※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。